令和10年度新卒採用技術職・業務分野及び主要拠点一覧

分類	業務分野	No.	関連拠点名	勤務地(採用時予定)
A	研究開発拠点における技術開発分野 ・原子炉・加速器等に関する運転・保守 ・廃止措置及び廃棄物処理・処分 ・燃料製造・再処理技術開発 ・放射性物質等の分析・解析・評価 ・原子力災害対策に係る業務　など	1	福島廃炉安全工学研究所	福島県（大熊町、楢葉町、富岡町、南相馬市） 茨城県（東海村）
		2	原子力安全・防災研究所	茨城県（ひたちなか市）
		3	原子力科学研究所	茨城県（東海村）
		4	J-PARCセンター	茨城県（東海村）
		5	大洗原子力工学研究所	茨城県（大洗町）、茨城県（東海村）
		6	核燃料サイクル工学研究所	茨城県（東海村）
		7	人形峠環境技術センター	岡山県（鏡野町）
		8	青森研究開発センター	青森県（むつ市）
		9	敦賀拠点（ふげん・もんじゅ・敦賀総合研究開発センター）	福井県（敦賀市）
		10	埋設事業センター	茨城県（東海村）
		11	新試験研究炉推進室	茨城県（東海村） ※プロジェクトの進捗により、今後主となる事業拠点が「福井県(敦賀市)」に移転する可能性があります。
B	核物質管理及び放射線管理・測定・モニタリングに関する技術開発分野		安全・核セキュリティ統括本部	茨城県（東海村、大洗町） 福島県（いわき市、大熊町、富岡町、南相馬市、楢葉町）
C	核不拡散・核セキュリティ・非核化に関する技術開発・人材育成分野		核不拡散・核セキュリティ総合支援センター	茨城県（東海村）
D	建設及びユーティリティ施設等の工務技術管理に関する分野 ・D-1　建設に関する分野 ・D-2　ユーティリティ施設等の工務技術管理に関する分野		建設部	茨城県（東海村、大洗町） 福島県（大熊町、富岡町、南相馬市、楢葉町） 福井県（敦賀市） 北海道（幌延町） 岐阜県（土岐市） 岡山県（鏡野町） 青森県（むつ市）
E	基幹情報システムの運営・技術開発分野		システム計算科学センター	茨城県（東海村）
F	軽水炉研究分野におけるプロジェクトマネジメント分野		研究開発推進部	茨城県（東海村）

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-1	(1)業務分野名	**研究開発拠点における技術開発分野**
	関連拠点名	福島廃炉安全工学研究所
	(2)業務概要	福島廃炉安全工学研究所では、東京電力ホールディングス㈱福島第一原子力発電所（以下、1Fという）の廃炉と福島の環境回復に向け、燃料デブリ取り出し等の技術的に難易度の高い廃炉工程の安全、確実、迅速な推進及び、安心して生活する環境の整備に必要な様々な調査・研究開発を実施しています。 ①燃料デブリや放射性廃棄物の分析やそのための技術開発。機械、電気、放射線管理等、施設・設備の運用・管理 ②燃料デブリ、構造物、放射性廃棄物、ダストなどの性状把握と保管・管理時の挙動評価に係る技術開発 ③環境モニタリングに係る計測、データ処理、被ばく評価などに必要となる技術開発 ④遠隔操作ロボット技術（自動巡視、自動３Dモデル化、操作シミュレーション等）やデジタル技術（フィジカルAI、インタラクティブVR等）を活用した様々な技術開発
	(3)求める人物像	○「高い使命感」×「俯瞰力・応用思考」×「挑戦と協調」 1F廃炉や環境回復に「高い関心」と「強い使命感」を持ち、主体的に取り組む人物 単一分野にとどまらず、全体を俯瞰できる広い視野を持ち、社会実装・貢献を見据えた思考力のある人物 困難な課題に対して果敢に取り組むチャレンジ精神と、内外との円滑なコミュニケーションが図れる、協調性のある人物
	(4)アピールポイント	①社会的な意義の高さ 1F廃炉・福島の復興という日本のエネルギー政策・環境安全に直結する国家的なプロジェクトに従事することにより、安全な未来を創るという使命感を持ち、社会に大きく貢献することができます。 ②最先端技術と施設・設備 燃料デブリや放射性廃棄物分析、放射線計測・可視化、遠隔操作・環境モニタリング、AI・データ解析など、高度な技術と研究施設に直接関わることができます。 ③専門性とキャリア形成 国内外の大学・研究機関との共同研究や国際会議参加の機会もあり、グローバルなキャリア形成が可能です。 ④地域貢献と社会とのつながり 福島復興に直接貢献できる仕事であり、地域イベントや教育活動を通じて、社会との接点を持ちながら働くことができます。
	(5)勤務地 (採用時予定)	福島県（大熊町、楢葉町、富岡町、南相馬市）、茨城県（東海村）
	(6)関連分野	理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：
	(7)関連するHP	https://fukushima.jaea.go.jp/ https://fukushima.jaea.go.jp/recruit/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-2	(1)業務分野名	**研究開発拠点における技術開発分野**
	関連拠点名	原子力安全・防災研究所
	(2)業務概要	原子力機構では、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえた新しい原子力災害対策の考え方に基づき、発災時の対応にあたる国や地方公共団体に対して人的・技術的支援を実施しています。本分野では、災害発生時における放射線モニタリング技術開発や住民避難の効率化に係る研究開発、国や地方公共団体の防災関係者への研修など、原子力災害対策の高度化を目指した業務を幅広く行っています。
	(3)求める人物像	原子力防災や災害対策に意欲的に取り組む方、住民や社会への貢献を志す方を募集します。
	(4)アピールポイント	原子力に関する緊急時には国の意思決定や地方公共団体の住民避難等を支援する重要な役割を担います。また平常時には、我が国の原子力防災の実効性向上に資する技術開発を進めており、成果の一部は国のマニュアル等に反映されるなど社会貢献を実感できます。
	(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（ひたちなか市）
	(6)関連分野	理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：
	(7)関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/shien/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-3

(1)業務分野名	**研究開発拠点における技術開発分野**
関連拠点名	原子力科学研究所
(2)業務概要	原子力科学研究所では、2050年カーボンニュートラル社会の実現を目指し、国内でも他に類を見ない原子力基盤研究施設を最大限に活用し、様々な研究開発を推進しています。社会にとってさらに価値のある研究成果を創出するため、大型研究施設の運転・保守・技術開発に加え、研究者との協働による先進的な研究開発の推進を通じて、高度な専門技術者として研究所の活動を根幹から支え、その発展に貢献する人材を募集します。 ① 試験研究炉（JRR-3、NSRR）、タンデム加速器施設、臨界実験装置及びホット試験施設の運転管理・保守管理・技術開発を行います。また、原子力はもとよりその他の幅広い分野の専門性を活かして、試験研究炉JRR-3の利用性能の向上（中性子強度の増強、医療用RIの増産など）に向けた技術開発を行います。 ② 放射性廃棄物の減容安定化処理・保管管理、分析・測定及び使命を終えた原子力施設の廃止措置及び技術開発を行います。また、将来のバックエンド対策を推進する技術開発を行います。 ③ 放射性物質の化学・分析技術を活かして、放射性廃棄物からの希少元素や有用な放射性核種の分離・精製、医療用RIの製造、ウラン蓄電池などの資源・エネルギー利用に向けた技術開発を行います。また、バックエンド研究施設（BECKY）のTRU-HITECを活用した半永久電池用RI熱源の開発や、放射性核種の高精度分析、放射線分解の評価技術の高度化に取り組みます。さらに、ホットセルやグローブボックス等の試験設備・装置の運転・保守管理及び安全管理を通じて、研究者と協働し、研究開発を推進します。 ④ 電気・電子工学や装置制御・ソフトウェア開発などの専門性を活かして、試験研究炉JRR-3の中性子ビーム利用実験装置群やそれらを用いたビーム利用技術に関する開発・高度化や運転・保守管理を行います。また、国内外の研究者が実施する先進的な中性子ビーム利用実験を技術面からサポートし、最先端の研究成果の創出に貢献します。
(3)求める人物像	・ユニークな研究開発基盤を支える専門技術者を目指し、自身の専門分野への探求を深めるとともに、それ以外の知識・技術の習得にも意欲的に取り組める方。 ・組織全体における自身の役割を認識し、個人能力を最大限に発揮して、目の前の課題解決に主体的にチャレンジしようとする意思のある方。 ・自身の所属する組織の枠を越え、他の組織のメンバーとも積極的にコミュニケーションを図りながら、同じ目標に向かって一丸となって取り組むことができる方。 ・原子力技術や他の技術を組み合わせ、原子力の新たな価値創造を目指し、社会課題解決に向けて「何をすべきか」を共に考えられる方
(4)アピールポイント	原子力科学研究所は、「放射性物質の再資源化」「リニューアブル社会への貢献」「医療用RIの製造」「原子力施設の更なる安全性向上」を4本柱として、原子力の基礎・基盤から物質科学、先端基礎科学まで多岐にわたる研究分野において原子力利用と科学技術を支える国内唯一の研究所です。 原子力は発電に留まらず様々な研究分野で活用することができます。原子力の可能性をさらに発展させ、夢のある社会を共に実現させましょう。
(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村）
(6)関連分野	理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：
(7)関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-4

(1)業務分野名	**研究開発拠点における技術開発分野**
関連拠点名	Ｊ－ＰＡＲＣセンター
(2)業務概要	大強度陽子加速器施設J-PARCは、約65万平方メートル（東京ドーム約14個分）の広大な敷地を誇る、世界有数の大型研究施設である。物質中の原子・分子の構造や働きを解明し、新たな材料や生命現象の理解につなげる研究のほか、素粒子・原子核の研究を通じて宇宙誕生の謎に迫る研究など、世界最先端の研究が展開されている。 本募集においては、J-PARCにおいて以下（1）～（3）の業務に従事する職員を募集する。 （1）J-PARC及びその実験施設において、安全かつ安定した研究環境を維持するため、施設内外の放射線管理、放射線業務従事者の被ばく管理・評価、放射線モニタリング設備の維持管理及び高度化に関する業務に従事する。 また、世界最高水準の大強度陽子ビーム及びその生成二次粒子により生じる放射性核種の分析に関する研究、放射線防護技術の高度化に向けた研究開発、並びに放射線管理設備の性能向上を目的とした技術開発に取り組む。 （2）主な業務は、加速器の運転・保守、各種機器の開発・改良、運転データの解析、ビームの状態を把握するための測定・評価およびビーム性能の向上である。また、加速器を構成する多種多様な機器を適切に維持管理するとともに、故障や異常の原因究明と対策にも取り組む。多様な専門分野の研究者・技術者と連携し、安全かつ安定したビーム供給を実現するとともに、さらなる大強度化・高性能化に向けた技術開発を推進する。 （3）本業務では、MLFにおける実験の安全かつ安定的な実施を支える電気設備の管理・運用・保守、電磁石等の共通試料環境機器の整備・高度化を行う。また、偏極中性子実験に用いる機器・技術の開発や、国内外の研究者に対する実験技術支援にも取り組む。
(3)求める人物像	上記項目に記載した（1）～（3）に対応する内容を以下に示す。 （1）J-PARCは、加速器施設及び多様な実験施設を有する国内最大級の研究拠点であり、国内外から多くの研究者・技術者が集まる国際的な研究施設である。 このような環境において放射線管理業務及び技術開発を推進するためには、自らの専門分野に加え、関連する幅広い分野にも関心を持ち、新たな知識や技術を積極的に習得する姿勢が求められる。また、多様な関係者と円滑に連携しながら課題解決に取り組むコミュニケーション能力と主体性、責任感を備えた人材を求める。 （2）加速器は、ビーム発生装置、高周波源、直流・パルス電源、真空、ビーム診断および制御など、多様な技術の集合体である。このような分野での技術開発や利用経験を有する方はもちろん、未経験でも新たな知識や技術を積極的に学ぶ意欲のある方を歓迎する。また、多様な専門家と連携し、協調性と主体性を持って課題解決に取り組める方を求める。 （3）電気・電子、電磁気、機械、物理等の理工学分野に関する基礎知識を有し、大型研究施設における実験設備の運用・維持管理や先端的な実験技術の開発に意欲的に取り組む方を募集する。 特に、電気設備、電磁石・磁場制御技術、実験機器の設計・製作等に関心があり、新しい知識・技術を積極的に習得する意欲のある方を歓迎する。また、国内外の研究者や技術者と協力しながら、主体的に課題解決に取り組める方を求めている。 学生時代の専門分野や研究テーマが業務内容と完全に一致している必要はなく、採用後の実務や研究開発を通じて専門性を高めていく意欲を重視する。
(4)アピールポイント	上記項目に記載した（1）～（3）に対応する内容を以下に示す。 （1）J-PARCでは、世界最先端の研究活動を支える放射線管理業務に携わることで、高度な放射線防護技術や安全管理に関する専門知識を習得することができる。また、日常業務に加え、研究開発や新たな技術創出に取り組む機会もあり、技術者として幅広い成長が期待できる。 さらに、研究成果は学会発表や学術論文として積極的に発信されており、国内外の専門コミュニティにおいて活躍できる環境が整っている。放射線管理の実務と研究開発の双方に携わりながら、専門性を高められることが本職の大きな魅力である。 （2）世界トップレベルの加速器をさらに進化させるため、挑戦的な課題に取り組み、その成果を通じて社会に貢献できる環境がある。加速器は多様な技術の集合体であり、幅広い分野の技術開発に携わることで、自らの専門性を深めるとともに、新たな技術や知識を身につけることができる。さらに、国内外の研究者・技術者との情報交換や、国際会議などで成果を発表する機会もあり、国際的な舞台で活躍できる環境が整っている。 （3）J-PARC MLFは、世界最先端の中性子・ミュオン研究を支える大型研究施設である。本業務では、多様な実験装置を支える電気設備の管理・運用から、電磁石や中性子偏極デバイス等の先端技術開発まで、幅広い業務に携わることができる。経験豊富な職員と協力しながら実践的な技術を習得でき、自ら開発・整備した装置が国内外の研究者に利用され、科学技術の発展に貢献するやりがいを実感できる職場である。
(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村）
(6)関連分野	理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☐ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☐ 電気・電子　☑ 材料　☐ 土木建築　☐ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：
(7)関連するHP	https://j-parc.jp/c/ https://mlfinfo.jp/ja/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-5

(1)業務分野名	**研究開発拠点における技術開発分野**
関連拠点名	大洗原子力工学研究所
(2)業務概要	原子力を専攻していない方も歓迎します。機械、電気・電子、材料、化学、情報、土木・建築、物理など、大学・大学院で培った専門性を活かし、研究施設や大型設備を「設計し、つくり、動かし、改良し、実験を行う」技術者として働きます。原子力特有の知識や安全管理は、入職後の研修と実務を通じて習得できます。 大洗原子力工学研究所では、高速実験炉「常陽」、高温工学試験研究炉「HTTR」、大型ナトリウム試験施設、大型照射後試験施設「FMF」などを活用し、次世代原子力システム、カーボンニュートラル、水素製造、医療用放射性同位体、1F燃料デブリ分析、廃止措置等に関する研究開発を進めています。技術系職員は、次の業務を通じて研究開発の基盤を支えます。 ○研究施設・設備を設計し、動かす ・原子炉施設、試験施設、実験設備の設計、製作、施工管理 ・原子炉施設、試験・実験設備の運転、点検、保守、更新、高度化 ○次世代技術を開発する ・高速炉、高温ガス炉、燃料サイクル、照射後試験、医療用放射性同位体等に関する技術開発 ・解析、計測制御、遠隔技術、AI・データ活用等の導入 ○安全と将来のプロジェクトを支える ・安全管理、廃止措置、放射性廃棄物の処理・処分に関する技術開発 ・国内外の技術・政策動向の調査・分析、研究開発計画の立案、関係機関との調整・連携 ・社会受容性に関する調査・分析、リスクコミュニケーション等、社会科学的知見を活かした取組 （なお、一部の業務は、核燃料サイクル工学研究所、高温ガス炉プロジェクト推進室又は高速炉サイクルプロジェクト推進室勤務の可能性があります）
(3)求める人物像	○現在の専攻分野を活かしながら、新しい技術や原子力分野の知識を学ぶ意欲のある方 ○実験、設計、解析、設備運用など、実物・実データに向き合う仕事に関心のある方 ○安全を最優先に、周囲と相談・協力しながら着実に業務を進められる方 ○社会的意義の大きな、長期的な研究開発プロジェクトに取り組みたい方
(4)アピールポイント	高速実験炉「常陽」や高温工学試験研究炉「HTTR」をはじめ、大学や一般企業では経験する機会の少ない大型研究施設・設備において、設計・製作、運転・保守、改良、試験の実施など、幅広い業務に関わることができます。 機械、電気・電子、材料、化学、情報、土木・建築など、それぞれの専門性を活かす仕事があります。原子力分野の知識は入職後に学び、先輩職員や異なる専門分野の職員と協力しながら、技術者として専門性と業務領域を広げることができます。
(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（大洗町）、茨城県（東海村）

(6)関連分野

理学系: ☑ **数学・情報** ☑ **物理** ☑ **化学** ☑ **生物・農学** ☑ **地学・地球科学** ☑ **量子科学**

工学系: ☑ **機械・システム工学** ☑ **電気・電子** ☑ **材料** ☑ **土木建築** ☑ **環境工学** ☑ **原子力工学**

その他:

(7)関連するHP

https://www.youtube.com/watch?v=_JKsxmbSDUI

https://www.youtube.com/watch?v=t2mW3NdZt0g

https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/index.html

https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/research/research.html

https://www.jaea.go.jp/04/sefard/randd/development/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-6 (1)業務分野名　**研究開発拠点における技術開発分野**

関連拠点名　核燃料サイクル工学研究所

(2)業務概要

当研究所は、JAEAのビジョン「『ニュークリア × リニューアブル』で拓く新しい未来」を実現するために、「原子力の持続可能性（サステイナビリティ）」を高めるための「核燃料サイクル」に係るテーマを中心に研究開発を進めています。
「核燃料サイクル」とは、一度使った核燃料（使用済燃料）を、特殊な方法で処理して新しい燃料にし、再び原子力発電所でエネルギーを生み出すという仕組みです。これにより、資源を有効に使い、廃棄物を減らすことができます。
「核燃料サイクル」を支える技術は主に4つの分野に分かれます。
・原子炉技術：核燃料物質の核分裂反応を利用して電気を作り出す技術
・再処理技術：使用済燃料から、再利用可能な核燃料物質を取り出す技術
・燃料製造技術：取り出した核燃料物質を使って、新しい核燃料を製造する技術
・放射性廃棄物の処理・処分技術：使用済燃料から取り出した核燃料物質以外の放射性物質を安全に処理して処分する技術
それらに加えて、役割を終えた原子力施設を安全に解体する「廃止措置技術」も原子力の持続可能性の点で重要な技術です。

当研究所では、原子炉以外の核燃料サイクル3分野（再処理・燃料製造・廃棄物処理処分）と廃止措置を対象に、幅広い研究・技術開発に取り組んでいます。多様で専門的なバックグラウンドを持った研究者・技術者が集まり、協力しながら新しいエネルギーの未来を創っています。

【現在取り組んでいる主な業務】
○核燃料サイクルに係る研究開発・技術開発
カーボンニュートラル社会の実現に向けた国家プロジェクトである「高速炉サイクルプロジェクト」を中心に、核燃料サイクルを支える再処理技術、燃料製造技術に関する多様な研究開発・技術開発を実施しています：
- 次世代高速炉用燃料の物性研究および燃料製造プロセスの開発（マイナーアクチニドを含む先進燃料の開発を含む）、ならびに2040年代の運転開始を目指す高速炉実証炉向け燃料製造施設の設計・建設・試験及び関連する技術開発
- 軽水炉プルサーマル燃料の再処理技術開発、高速炉燃料の先進分離回収（使用済燃料からのマイナーアクチニドの分離等）
- 高レベル放射性廃棄物の処理・処分に係る基盤研究および性能評価、低レベル放射性廃棄物の処分技術の高度化
- AI・データ解析を用いた検査・計測技術、保障措置用核燃料物質の非破壊測定技術などの支援技術の開発

○廃止措置に関する研究開発・プロジェクト推進
- 国内初の大規模再処理施設の廃止措置を含む、様々な原子力施設の廃止措置に関連した技術開発：除染技術、高線量下での遠隔解体技術、廃止措置分析技術、廃棄物の減容・安定化（ガラス固化体・セメント固化体等）処理技術、遠隔ロボティクスを活用した設備解体技術の開発
- 廃止措置プロジェクトマネジメントの高度化、廃止措置段階の施設の保障措置の合理化・最適化手法の構築、AIを活用した廃止措置技術の体系化などの支援技術の開発
- 東京電力福島第一原子力発電所の廃炉に係る分析技術・処理技術の研究

(3)求める人物像

○新しい技術開発に果敢にチャレンジし、好奇心・探求心にあふれ、多くの仲間と共に社会に貢献する大規模プロジェクトに挑戦したい方。
○困難な課題に対して、解決策を前向きかつ柔軟に考えて自発的に行動できる方。
○様々な知識・技術が必要となる核燃料サイクルに関する技術開発や、国内初となる大型核燃料施設の廃止措置という長期プロジェクト完遂のため、幅広い分野で学び続けることのできる方。

(4)アピールポイント

核燃料サイクル工学研究所は、再処理技術開発、高速炉燃料開発、廃棄物処理・処分、施設廃止措置など、原子炉以外の核燃料サイクル技術を総合的に扱う点が特徴です。実験室から工学規模まで段階的に試験できる多様な施設を備え、実際の設備やプロセスに触れながら試験や検証を進め自身の技術を磨き、JAEAの技術開発に貢献できる環境があります。また、国内外の研究機関との協力・連携も多く、国際的な視点で成長できる機会もあります。
2050年に向けてカーボンニュートラルやGX（グリーントランスフォーメーション）による産業変革が求められる潮流の中で、高速炉実証炉用燃料製造や高速炉燃料再処理といった核燃料サイクルの技術は国家プロジェクトとして今後も重要な役割を果たすことが期待されています。当研究所では、次世代の燃料・再処理技術の開発に加え、東海再処理施設の廃止措置という前例の無い大規模プロジェクトや高レベル放射性廃棄物等の処理・処分に係る研究にも取り組んでおり、社会的意義の高い業務に関わることができます。
機械、電気・電子、材料、化学、通信制御、建築・土木、物理、放射線物理、原子炉物理、地学、生物学、計算科学・データサイエンスなど、多様な分野の専門家が活躍中です。新卒の方にとっても自身の学んできたことを活かしながら、原子力エンジニアとしての成長、やりがいが実感できる環境が整っています。技術開発と社会への貢献を両立させながら成長したい方は是非ご応募ください！

(5)勤務地
(採用時予定)　茨城県（東海村）

(6)関連分野

理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学

工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学

その他：

(7)関連するHP　https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/recruitment/new/index.html

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-7

(1)業務分野名	**研究開発拠点における技術開発分野**
関連拠点名	人形峠環境技術センター
(2)業務概要	人形峠環境技術センターでは、原子力施設の廃止措置及び鉱山施設の閉山措置を安全かつ着実に進めるため、核燃料物質、鉱さい等を適切に管理し、六フッ化ウランの譲渡しに向けた準備、ウラン廃棄物の処理・処分、閉山措置に係る技術開発等を進めています。このため、学部を問わず、これらの業務を積極的に取り組むことができる人材を幅広く募集します。
(3)求める人物像	学生時代の専攻は問いません。新しい技術の開発や、既存技術の応用に積極的に挑戦し、多くの仲間と協力しながらチームでプロジェクトを推進したいと考えている方を歓迎します。
(4)アピールポイント	人形峠環境技術センターは、使命を終えた大型核燃料施設の我が国初めてとなる廃止措置の先駆者としてウラン廃棄物を安全に処理・処分するといった今後の日本にとって必要不可欠な研究に取り組んでいます。こうした取り組みを通じて生み出される技術は、将来的に世界の標準となる可能性も秘めています。また、小規模な拠点だからこそ、多様で幅広い業務に携わる機会が多く、実践を通じて専門知識や技術力を身につけることができ、若手のうちから第一線で活躍できるフィールドがあります。
(5)勤務地 (採用時予定)	岡山県（鏡野町）

(6)関連分野

理学系： ☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学

工学系： ☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学

その他：

(7)関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/zningyo/recruit/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-8	(1)業務分野名	**研究開発拠点における技術開発分野**
	関連拠点名	青森研究開発センター
	(2)業務概要	青森研究開発センターは、青森県むつ市に本拠地を置き、原子炉施設の管理、環境試料等の極微量元素分析及び分析技術開発を実施するとともに、港湾施設の維持管理やむつ科学技術館の運営管理を行っています。 主な業務の概要は以下のとおりです。 〇原子炉施設（廃止措置中）及び一般施設の管理、品質保証に関する業務を行います。 原子炉施設の運転・保守管理。一般施設の空調設備、冷暖房設備及び電気等機械室設備の運転・保守管理。 建築物・構築物、機械設備及び電気設備の営繕に関する検討及び補修・改修工事の設計並びに施工監理に関する業務等。 〇加速器質量分析装置及び試料前処理装置の機械／電気／化学的な保守・改良、放射性壊変核種を利用した年代測定及び環境評価に関する業務を行います。 〇関根浜港の維持管理に係る業務を行います。 港湾施設等に関する保守計画の立案実行、船舶の入出港・港湾施設の使用状況の管理、対外関係機関との連絡調整に係る業務。
	(3)求める人物像	・原子力の研究開発には社会との対話による理解促進が必要であり、技術者としての能力に加えて、様々なステークホルダーとの交流を深められる協調性を持ち、コミュニケーションを通じて全体の成果に貢献できる方。 ・原子力技術や他の技術を組み合わせ、新たな課題にも創意工夫で立ち向かい解決できるエンジニアを目指し、意欲的にチャレンジしようとする意思のある方。
	(4)アピールポイント	青森研究開発センターは、原子力船「むつ」の原子炉に係る廃止措置及び加速器質量分析装置を用いた極微量元素分析・分析技術開発を実施する約50名程の比較的小規模な組織ですが、個々人の希望に応じて幅広い分野での研究・技術開発の場を提供できる環境があります。
	(5)勤務地 (採用時予定)	青森県（むつ市）
	(6)関連分野	理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☐ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：
	(7)関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/aomori/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-9

(1)業務分野名	**研究開発拠点における技術開発分野**
関連拠点名	敦賀拠点（ふげん・もんじゅ・敦賀総合研究開発センター）
(2)業務概要	敦賀拠点では、原子力発電所の廃止措置技術の確立・実証を目指し、 放射能レベルが残存し、構造が複雑である原子炉本体解体に臨む「新型転換炉原型炉ふげん」、 国内初のナトリウム冷却原子炉の解体となる「高速増殖原型炉もんじゅ」の廃止措置を先駆者として進めています。 両施設の廃止措置は、さまざまな課題に挑戦する「正解の未だ無い初めての取り組み」であり、 現在は主に以下の作業を進めています。 ふげん：原子炉周辺設備の解体、原子炉本体解体に向けた遠隔解体装置の開発 もんじゅ：大型ナトリウム機器解体に向けたナトリウム処理技術の開発、先駆けて小規模なナトリウム機器の解体
(3)求める人物像	○廃止措置の先駆者として、完遂までの長期的な取り組みに使命感を持ち、課題解決に向けて柔軟かつ前向きに考え、自発的に行動できる方 ○機構ミッション達成のため、職場の仲間と協力し、チームでプロジェクトを推進・完遂することを志している方 ○技術者としての能力に加え、国内外のステークホルダーとの交流を深めながら、廃止措置事業を進めるバイタリティを持つ方 ※廃止措置には多様な分野の技術や専門性（原子力、機械、電気、土木等）が求められるため、原子力工学専攻に限りません。
(4)アピールポイント	「ふげん」は、進展目覚ましいレーザー技術に着目し、新たなレーザー切断技術の開発を行っています。 レーザー切断は従来の機械的切断に比べて、放射性廃棄物の発生量低減にも寄与するなど優れている点があり、 国内外初となる廃止措置への導入実現のため大規模実証を進めており、解体工法の高度化に貢献できるものと考えています。 「もんじゅ」は、国内初の高速炉の廃止措置であり、廃止措置そのものが多くの研究開発要素を有しています。 高速炉の廃止措置は海外が先行していることから、英国におけるナトリウム処理に向けた国際協働プロジェクトを進めるなど、 世界の専門家と協働しながら、得られた成果が次世代の高速炉開発に貢献できるよう取り組んでいます。 また、廃止措置で得られた成果や知見は体系的にまとめ、国内学会や国際会議等の場で広く発信するなど、 世界の原子力エネルギーの未来に繋がる財産となるよう取り組んでいます。 廃止措置は施設ごとに炉型や汚染状況等が異なるため、新たに生じる課題にも常に前向きに挑戦し続けています。 私たちと共に、原子力施設の廃止措置プロジェクトをリードし、 日本そして世界の廃止措置のスタンダードを目指すという高い志を持って、大きな社会貢献を果たしていきましょう。
(5)勤務地 (採用時予定)	福井県（敦賀市）
(6)関連分野	理学系：☐ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：
(7)関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/turuga/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-10

(1)業務分野名	**研究開発拠点における技術開発分野**
関連拠点名	埋設事業センター
(2)業務概要	原子力や放射線の研究は、将来のエネルギー確保や医療・工業・農業に活用され、私たちの暮らしを支えています。 研究や医療活動などで発生する放射性廃棄物の安全な埋設処分は、持続可能な原子力の研究や放射線利用を目指していくうえで、大変重要な役割を担っています。 安全な埋設処分を行うための技術開発では、埋設施設の設計（土木・建築）や放射性核種の環境中への移行解析、原子炉内の中性子輸送計算、放射化計算などのシミュレーションに加え、環境調査（水位・水質測定・地質調査）のためのフィールドワークや化学実験などに取り組んでいます。
(3)求める人物像	○社会の安全・安心に直結する埋設処分の実現に科学的アプローチで貢献したい方 ○技術課題に主体的に取り組み、最新の知見を吸収しながら探究を続けられる方 ○自身の専門性を活かしつつ、関連領域の技術開発や部署間の協働に意欲的に挑戦できる方 ○技術開発成果を客観的に整理し、社会に向けて分かりやすく発信できる方
(4)アピールポイント	研究や医療活動などから発生する放射性廃棄物の安全な埋設処分は、持続可能な社会を実現するために、国の政策として原子力機構が担う重要な役割の一つです。埋設処分の実現に向けては、設計・解析・実験・フィールド調査などの多様な技術開発に取り組みながら、自ら専門性を着実に高めていくことができます。 また、海外でも埋設処分は行われており、IAEA等の国際機関をはじめ、海外の事業者や研究機関等との交流を通じて、最新の研究成果や新たな知見を学ぶ機会もあります。
(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村）

(6)関連分野

理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☐ 量子科学

工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学

その他：

(7)関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/maisetsu/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

A-11	(1)業務分野名	**研究開発拠点における技術開発分野**
	関連拠点名	新試験研究炉推進室
	(2)業務概要	新試験研究炉推進室では、福井県敦賀市の「もんじゅ」敷地内に設置する新たな試験研究炉の設計を、京都大学、福井大学と連携して進めています。新試験研究炉は、中性子を利用した学術研究、技術開発、原子力安全研究、医療用RI製造、産業利用、人材育成などに貢献する、西日本の中核的な研究開発拠点となることを目指しています。なお、採用後は、原子力科学研究所の試験研究炉JRR-3において、3年程度、運転員等として実務経験を積み、実践的な知識を習得していただく場合があります。
	(3)求める人物像	○新たに試験研究炉を設計し設置するには様々な知識・技術が求められるため、原子力に限らず、電気、機械、材料、物理、化学などの工学、理学をはじめ幅広い分野の人材。 ○好奇心と成長意欲を持ち、新しい技術開発に根気強く果敢にチャレンジし続けることが出来る人材。
	(4)アピールポイント	試験研究炉は、日本の経済安全保障を支える国家的社会インフラです。国内外で中性子利用施設が減少するなか、日本で約30年ぶりとなる新たな試験研究炉の設置に取り組んでいます。新しい原子炉の設計に携わる貴重な機会であり、学術界、産業界、地域社会からも大きな期待が寄せられています。自ら設計した原子炉を通じて、日本の科学技術の発展に貢献しませんか。
	(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村） ※プロジェクトの進捗により、今後主となる事業拠点が「福井県（敦賀市）」に移転する可能性があります。
	(6)関連分野	理学系：☐ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☐ 生物・農学　☐ 地学・地球科学　☐ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☐ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：
	(7)関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/nrr/jp/index.html

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

B	(1)業務分野名	**核物質管理及び放射線管理・測定・モニタリングに関する技術開発分野**
	(2)業務概要	(1)安全管理（従業員の安全管理、事故時の緊急対応） 〇機構の研究開発を進めるため、従業員の安全管理や施設の安全対策を行い、現場の安全を守ります。また、最新の安全工学に基づき、リスク分析等を実施し、作業計画への指導を行います。 〇機構内で火災、設備の故障及び従業員の怪我や体調不良が発生した場合に、状況を把握し、対策を検討し、事態の収束を図ります。また、緊急時の対応能力を常に維持するため、緊急時機材の保守管理や防災訓練を実施します。 (2)放射線管理（環境・施設モニタリング、個人線量管理、放射線計測器の校正） 〇施設周辺の住民の方々の安全を確保するため、施設周辺の環境モニタリングを実施します。また、作業における従業員の安全を確保するため、原子力施設内での放射線測定や個人線量を評価します。また、測定・分析に使用する機器の精度を維持するため、定期的に放射線計測器を校正します。 〇最新の放射線計測技術に基づき、プルトニウム等の超ウラン元素の分析・測定に関する技術開発、内部・外部被ばく線量評価の迅速化・精密化に関する研究、新しい放射線検出デバイス等の開発を実施し、学会や学術論文を通して、電力会社等へ技術を提供します。 (3)核物質管理（核セキュリティ、計量管理、保障措置） 〇機構が保有する核物質が盗取等されないように核物質を防護したり、核物質の管理に係る情報システムのセキュリティ確保を行います。具体的には、不審者を発見するための監視に関する高度化や、原子力施設への出入管理を行います。 〇核物質の平和利用を確認するため、核物質の測定等を行います。核物質測定に必要な技術開発は国内外の研究機関等と共同で行います。また、国際原子力機関(IAEA) 等が機構の施設に立入って実施する査察への対応等を行います。
	(3)求める人物像	〇安全管理、放射線管理、核物質管理分野での業務に強い意欲と責任感を持って取り組める人材 〇未経験の業務であっても、課題解決に積極的に取り組める人材 〇コミュニケーション能力や専門性に対する向上心を持ち、機構内外で活躍する気概がある人材
	(4)アピールポイント	原子力の研究開発には、原子力施設の安全を確保し、周辺住民や従業員の安全を守る業務、プルトニウムやウラン等の核物質の厳格な管理が必要不可欠であり、本分野は原子力機構の根幹を成す業務です。 また、本分野では、実規模の原子力施設の場を用いた測定技術等の技術開発に取り組めることや適性等に応じ、国際機関（IAEA：オーストリア、 ICRP：カナダ）等への派遣の機会があります。さらに、これらの経験を経て、アドバイザーとして、国や自治体等に協力する機会もあります。
	(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村、大洗町） 福島県（いわき市、大熊町、富岡町、南相馬市、楢葉町）
	(6)関連分野	理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学 工学系：☐ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：医学・保健学、人工知能
	(7)関連するHP	https://fukushima.jaea.go.jp/recruit/post/management.html https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/houkan/index.html https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/hoan/index.html https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/magazine/index.html https://www.jaea.go.jp/04/o-arai/research/safety.html https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/summary/center/houshasen/ https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/summary/center/hoan/index.html https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/interview/index.html

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

C (1)業務分野名 **核不拡散・核セキュリティ・非核化に関する技術開発・人材育成分野**

(2)業務概要	原子力人材育成・核不拡散・核セキュリティ総合支援センター（ISCN）では、原子力科学技術の健全な発展と核兵器・核テロの脅威のない世界の実現を目指し、学生及び社会人を対象とした人材育成事業、海外機関と連携した核不拡散・核セキュリティ分野の技術開発及び技術協力などの業務に、チームで連携しながら取り組んでいます。 (1)原子力人材育成 国内原子力分野を支える人材を育成するために、RI・放射線技術者や原子力エネルギー技術者を養成する研修や国家資格試験受験に向けた準備講座の企画・調整・運営を行い、人材育成基盤の強化に貢献します。研修等は、講義・演習・実習を組み合わせた実践的なプログラムを構築しており、運営を通じて講義・演習・実習に係る講師としての能力を開花させ、受講者への実習指導等で技術を磨き、担当講師との講義・演習内容の調整や国内のニーズや技術動向を踏まえて検討を重ね、持続的な研修・講座を企画します。また、大学と連携した学生の教育支援プログラムにも参画して将来を担う人材の育成にも貢献します。 (2)　核不拡散・核セキュリティ技術開発 IAEA等の国際機関や各国の核不拡散・核セキュリティ分野で活用される技術の開発を国内及び米国・欧州の機関と連携して実施しています。 ①核鑑識技術開発業務 核鑑識とは、紛失・密輸・盗取、あるいはテロ行為などの現場から押収された核物質(ウラン・プルトニウム）や放射性物質の物理的・化学的特徴を分析し、その出所、履歴、使用目的等を特定することにより治安機関の活動を支援するための技術です。これには、含まれる不純物の化学分析、核物質の「年代測定」のための放射化学分析、電子顕微鏡による形態学的分析、そして得られたデータの解析等があります。今後、現場でサンプリング等を行う初動対応、安価でアジア等で広く活用できる分析技術、プルトニウムの核鑑識技術に拡大して、国際共同研究を通じ、国際パートナーと共に核セキュリティの強化に貢献します。 ②核検知・核物質測定 将来のIAEA保障措置等に適用可能な核物質の非破壊測定技術、公共施設に仕掛けられた「汚い爆弾」（放射性物質飛散装置）に含まれる核物質・放射性物質の検知技術、密輸等を意図して遮蔽容器やコンテナの中に隠された核物質・放射性物質の検知技術の開発を通じて核テロの防止や核不拡散の強化に貢献します。 (3) CTBT技術協力 核実験の検知・検証を目的とする包括的核実験禁止条約機関(CTBTO)の国際監視システム(IMS)のうち、国内の放射性核種モニタリングステーションと環境測定試料の詳細分析のための分析施設の運用、世界中のステーションの観測データの解析や大気拡散シミュレーションを使った放出源推定解析を行います。また、関連する技術開発・協力も行い、CTBTOの核実験検知体制の維持・高度化を通じて非核化に貢献します。
(3)求める人物像	専門知識や経験だけでなく、科学技術を通じて社会に貢献したいという思いを持ち、仲間とともに新たな課題に挑戦できる人を求めています。 ・社会の安全と平和に貢献したい人 ・知的好奇心を持ち、挑戦し続けられる人 ・仲間と協力し、新たな価値を生み出せる人 ・自ら考え、主体的に行動できる人 ・国際的な視野を持ち、広い世界に目を向けられる人
(4)アピールポイント	ISCNには、原子力施設の運転・保守、放射線管理、分析、安全評価、安全管理などの分野で豊富な実務経験を有する専門家が多数在籍しており、その知識や経験を直接学べる環境があります。研修や講座の企画・運営を通じて人材育成の実務を経験できるほか、IAEAやCTBTOをはじめとする国際機関や国内外の研究機関との共同研究・国際協力にも携わることができます。 人材育成と最先端の技術開発の両方に関わりながら、多様な専門家との交流を通じて専門性を高めることができ、原子力の平和利用と国際社会の安全に貢献できることがISCNの大きな魅力です。
(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村）
(6)関連分野	理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：
(7)関連するHP	https://iscn.jaea.go.jp/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

D-1	(1)業務分野名	**建設に関する分野（土木・建築系、電気・機械系、耐震、地震・津波評価等）**
	(2)業務概要	機構が建設又は保有する原子力施設、研究施設等について、耐震、免震、制振等の最新技術工法による建築・土木構造物及び機械・電気設備の設計・構造評価及び施工監理の業務を行うとともに、設計・構造解析手法、建設工法等の最新化・最適化に係る技術開発等の業務を行います。また、規制・基準要求に基づき、地質・地盤構造の調査・解析を行い、地震動・基準津波を策定し、地盤、構造物への影響を評価する業務を行います。
	(3)求める人物像	○施設建設業務や耐震評価業務などの重要性や意義を理解し、使命感やチャレンジ精神を持って意欲的に業務に取り組むことができる人材を求めます。 ○自身の専門分野に捉われず、関係者と円滑にコミュニケーションを図り、協力しながら共通の目標に向かって前向きに行動できる人材を求めます。
	(4)アピールポイント	○建設に関する業務の魅力について、所属する若手職員の感想（アピールポイント）は以下の通りです。 ・施設建設や耐震評価業務等を通して国家的なプロジェクトに携われる ・業務の幅が広く、様々な場所で業務や人に携われる ・一人ではなく、チーム一丸となって業務に当たっている ・新しい技術を取り入れ、挑戦する機会が多い ・技術職でも研究開発に意欲的で、理解のある人が多い ・男女問わず働きやすい環境作りを意識してくれている ・若手でも安心してスキルアップできる環境と、整った教育体系がある
	(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村、大洗町）、福島県（大熊町、富岡町、南相馬市、楢葉町）、福井県（敦賀市）、 北海道（幌延町）、岐阜県（土岐市）、岡山県（鏡野町）、青森県（むつ市）
	(6)関連分野	理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：
	(7)関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/ https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/index.html https://fukushima.jaea.go.jp/okuma/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

D-2	(1)業務分野名	**ユーティリティ施設等の工務技術管理に関する分野（土木・建築系、電気・機械系）**
	(2)業務概要	原子力施設や研究施設等について、電気設備、蒸気設備、換気空調設備、温冷熱源設備、給排水設備等の運転・保守管理や、建築・土木構造物及び機械・電気設備の営繕（新築、増築、修繕及び模様替え）に関する設計、施工監理に係る業務を行います。また、機械、電子機器の工作に関する技術開発並びに修理及び保守に係る業務を行います。
	(3)求める人物像	○施設建設業務やユーティリティ供給などの重要性や意義を理解し、使命感やチャレンジ精神を持って意欲的に業務に取り組むことができる人材を求めます。 ○自身の専門分野に捉われず、関係者と円滑にコミュニケーションを図り、協力しながら共通の目標に向かって前向きに行動できる人材を求めます。
	(4)アピールポイント	○工務に関する業務の魅力について、所属する若手職員の感想（アピールポイント）は以下の通りです。 ・施設建設等を通して国家的なプロジェクトに携われる ・業務の幅が広く、様々な場所で業務や人に携われる ・一人ではなく、チーム一丸となって業務に当たっている ・新しい技術を取り入れ、挑戦する機会が多い ・技術職でも研究開発に意欲的で、理解のある人が多い ・男女問わず働きやすい環境作りを意識してくれている ・若手でも安心してスキルアップできる環境と、整った教育体系がある
	(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村、大洗町）、福島県（大熊町、富岡町、南相馬市、楢葉町）、福井県（敦賀市）、 北海道（幌延町）、岐阜県（土岐市）、岡山県（鏡野町）、青森県（むつ市）
	(6)関連分野	理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：
	(7)関連するHP	https://www.jaea.go.jp/04/ntokai/ https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/index.html https://fukushima.jaea.go.jp/okuma/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

E	(1)業務分野名	**基幹情報システムの運営・技術開発分野**
	(2)業務概要	基幹情報システムは、日本原子力研究開発機構(以下、機構)の業務遂行に不可欠な重要インフラであり、機構の各種情報システムの安全性と信頼性を確保するための情報セキュリティ対策システム、国内外に点在する機構の各拠点を結ぶネットワーク、原子力研究を支えるスーパーコンピュータ、機構業務を支える情報基盤等から構成される。 本テーマでは、基幹情報システムに係る運用・管理、企画(整備計画立案)、システム設計、データ分析・解析、検証等を行うとともに、システム開発(構築・整備)、ソフトウェア開発、情報セキュリティやデジタル化のための技術開発を実施する。また、生成AIを含むデジタル技術の活用による業務のDX(デジタルトランスフォーメーション)推進に係る技術的検討、検証及び環境構築に従事する。
	(3)求める人物像	○機構に与えられた使命(存在意義)及びその達成に不可欠な基幹情報システムの重要性を理解し、自らの役割を認識して行動できる人。 ○常に先端情報技術の習得に努め、自身の強みを伸ばすことができる人。 ○他の職員等(システムの利用者)との円滑なコミュニケーションができる人。
	(4)アピールポイント	機微な技術を扱う機構において、機密情報や個人情報の保護、サイバー攻撃からの防御等の業務は、機構の根幹を支える重要な仕事です。また、基幹情報システムの設計や開発 、DX推進等にあたり、生成AIを含む最新のデジタル技術の導入や活用に従事することで、常に新しい技術の習得や適用が求められ、自身のスキル向上や新たな価値の創造に挑戦することができます。
	(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村）
	(6)関連分野	理学系：☑ 数学・情報　☐ 物理　☐ 化学　☐ 生物・農学　☐ 地学・地球科学　☐ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☐ 材料　☐ 土木建築　☐ 環境工学　☐ 原子力工学 その他：
	(7)関連するHP	https://ccse.jaea.go.jp/

令和10年度新卒職員（技術系職員）採用募集要項・業務分野詳細

F	(1)業務分野名	**軽水炉研究分野におけるプロジェクトマネジメント分野**
	(2)業務概要	軽水炉の長期利用・安全性向上や次世代軽水炉（SMR等）の開発に向けて、国、産業界、大学等のニーズを把握し、日本原子力研究開発機構が有する研究施設、技術基盤、人材とのマッチングを通じて研究開発プロジェクトの企画・推進を行います。また、機構内外の関係者との連携・調整や共同研究の推進、研究成果の社会実装に向けた活動にも携わります。研究開発の最前線で創出された知見や技術を産業界や社会へ橋渡しし、原子力エネルギーの安全かつ持続的な利用及び2050年カーボンニュートラルの実現に貢献する業務です。
	(3)求める人物像	原子力をはじめとするエネルギー分野や研究開発マネジメントに関心を持ち、社会課題の解決に貢献する意欲のある方を募集します。専門分野は問いませんが、理工学系の基礎的素養を有し、多様な関係者とのコミュニケーションを通じて主体的に課題解決に取り組める方、研究成果や技術シーズの社会実装に関心を持ち、チームワークを大切にしながら業務を推進できる方を歓迎します。
	(4)アピールポイント	本業務では、官公庁、電力事業者、メーカー、大学、研究機関など幅広いステークホルダーと直接関わりながら、我が国の軽水炉研究開発の推進に携わることができます。研究者・技術者としての専門性に加え、プロジェクト企画力、調整力、マネジメント力を実践的に身につけることができるほか、さまざまな分野の研究開発活動を俯瞰的に理解する機会が得られます。また、研究成果を社会実装につなげるプロセスに直接関与できるため、我が国のエネルギー政策や原子力技術の発展、さらにはカーボンニュートラル実現への貢献を実感できる、やりがいの大きな業務です。
	(5)勤務地 (採用時予定)	茨城県（東海村）
	(6)関連分野	理学系：☑ 数学・情報　☑ 物理　☑ 化学　☑ 生物・農学　☑ 地学・地球科学　☑ 量子科学 工学系：☑ 機械・システム工学　☑ 電気・電子　☑ 材料　☑ 土木建築　☑ 環境工学　☑ 原子力工学 その他：
	(7)関連するHP	https://tenkai.jaea.go.jp/index.html